

## « ライフライン被害（電柱・ガス・水道） »

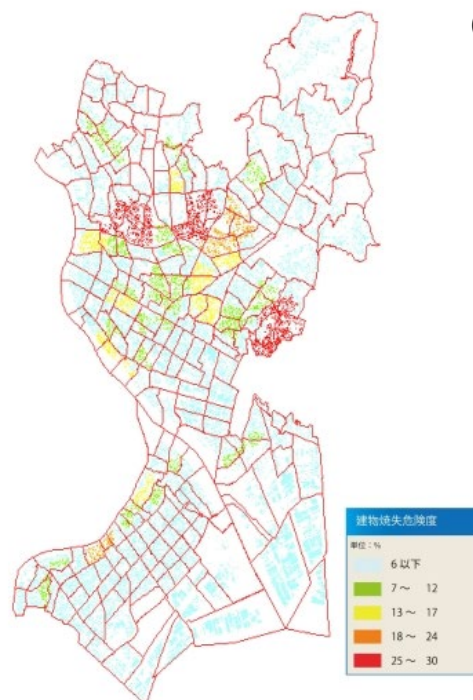
電柱・都市ガス・水道管の配線網及び配管網の被害分布は、いずれも本八幡駅の南側から湾岸部にかけてと、北部の国分川や大柏川沿いの谷底低地で大きな被害が想定される。これは液状化発生の危険性がある地域と概ね一致している。液状化現象は、直接的に人的被害につながる恐れは少ないと考えられるが、間接的には市民生活に大きな影響を与える恐れがある。

ただし、ライフラインの被害は、電柱や配管網が被害を受けた地域でのみ被害が深刻になるわけではないため、電柱や配管網の被害発生地域と、実際に生活に支障をきたす地域とは 必ずしも一致するわけではない。

### （１）電柱

<図の見方> ※※NTTからの提供データを基に計算したものです

この図は電柱被害箇所密度を表したものであり、「1平方km当たり何箇所被害が発生したか」というもの。電柱被害は地震の揺れによる被害箇所を計算したものであり、倒壊した建物によって倒されたものや電線に引っ張られて倒れたものなどは考慮していません。



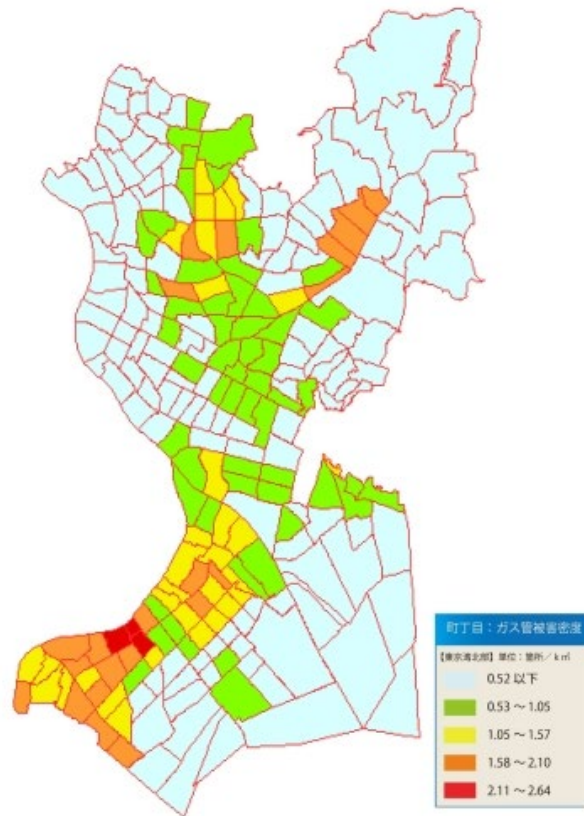
※この想定結果は、一定の条件において計算された結果であり、実際に地震が発生した場合、必ずしも同様の結果になるとは限りません。

## (2) ガス

<図の見方> ※京葉ガスからの提供データを基に計算したものです

この図はガス被害箇所の密度を表したものであり、「1ha当たり何箇所で被害が発生したか」というもの。被害数値は低いですが、被害が発生した場合広い範囲での供給停止が考えられる。

(市域図中の実線は町丁目境)



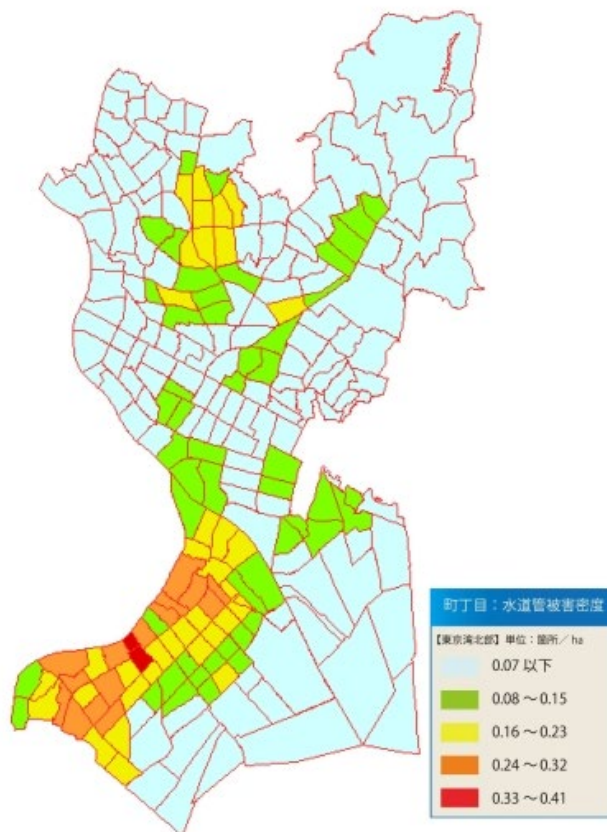
※この想定結果は、一定の条件において計算された結果であり、実際に地震が発生した場合、必ずしも同様の結果になるとは限りません。

### (3) 水道

<図の見方> ※県企業局で管理している水道管被害を計算したものです。

この図は水道管の被害箇所密度を表したものであり、「1ha当たり何箇所が被害が発生したか」というもの。密度標記のため、数値上ではわずかな被害に見えるかもしれませんが、1箇所の被害により漏水が発生した場合、水圧低下などにより、その管をもとにした多くの地域での断水が生じることが予想されます。

(市域図中の実線は町丁目境)



※この想定結果は、一定の条件において計算された結果であり、実際に地震が発生した場合、必ずしも同様の結果になるとは限りません。